

Assessment of SPECT-CT fusion images and semi-quantitative evaluation using SUV in ¹²³I-IMP SPECT in patients with choroidal melanoma

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: English 出版者: 公開日: 2021-05-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山崎, 香奈 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002867 |

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2489 号

Assessment of SPECT-CT fusion images and semi-quantitative evaluation using SUV in 123I-IMP SPECT in patients with choroidal melanoma

脈絡膜悪性黒色腫患者における 123I-IMP SPECT による SPECT-CT 融合画像評価と SUV を用いた半定量的評価

山崎 香奈 (やまざき かな)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、眼球の脈絡膜悪性黒色腫患者に対して N-イソプロピル-p-[I-123]ヨードアンフェタミン (IMP) を用いた単一光子放射断層撮影 (SPECT) を施行し、通常は陽電子放出断層撮影 (PET) の評価で用いる半定量的指標である **standardized uptake value (SUV)** を SPECT に応用を**検討**した論文である。**脈絡膜悪性黒色腫**は、日本国内では年間 100 万人あたり 0.25 人程度と罹患数の少ない疾患で、**原発**が眼球内ゆえに生検が困難であることから、治療前後の画像診断の**重要であり、その臨床評価検討が行われた**。結果、CT 画像と融合した 123I-IMP SPECT 画像の IMP 投与 24 時間後 SUV による半定量評価は脈絡膜悪性黒色腫の検出に**従来法より優れており**、さらに 6 時間後画像の SUV 評価も**可能**であることが**示唆された**。この研究では 123I-IMP SPECT 画像に、PET でも用いられる半定量評価 SUV 法を世界で初めて適応しその有用性を示すとともに、通常は **IMP 投与 24 時間後**像で評価される検査を短縮することができる可能性も示している。今回開発した SUV を用いた 123I-IMP SPECT の**脈絡膜悪性黒色腫**の診断と治療効果の判定の応用が**可能であることを示した意義ある論文**である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。